
ミルクティー

一色 美桜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ミルクティー

【著者名】

一色 美桜

NZ-1087830

【あらすじ】

恋愛感情の短編です。

テーマはミルクティー。

(前書き)

甘こ懸を、見よつ

冷え切つた心と

濡れた瞳で

立ち止まつたままの

私の、目の前

突然に、

現れた、あなたと私の出会いは

余りにも、運命的

その声に引き込まれて

『氣づいた時には、もう

あなたしか、みえなくなっていた

曖昧な、言葉じゃなくて

真っ直ぐ瞳をみて

この気持ちを、伝えよう

あなたが、好き

震える、唇

一瞬の、躊躇

抱きしめる手に

揺れる、恋心

欲しいばかりの、私

包み込む、温度が

温かくて、心地良い

このまま、あたためてくれますか？

夜の三日月が、綺麗ねと

天を仰ぎ

全部、忘れるのも悪くない

一緒に、夢をみよつかと

微笑む、あなたに

もっと、上手く甘えてみたい

今だけでいいから

私だけを、みていない事も、

わかっているから

その優しい嘘で、満たして下さい

でも、もう

元に戻ることが、出来ない事には

気づいていない、ふりをして

降り出した雨に、打たれながら

私は、密かに

この熱を

一筋の涙と共に

なかつた事に、じよりとする

再び見つめた瞳は、熱を帯びていて

もつとい

深くを求めてしまつ

自分の弱さを知つてこゐるの

私は

つないだ手が、離せない

同じ夢を見る事が出来ない、二人

今日も

私は、一人

甘い、甘い

ミルクティーみたいな、

夢を見よ

目覚めた瞳に、ぶつかる視線

溢れ出した感情は、もう止められない

あなたが、好き

(後書き)

今回は、恋愛感情がメインで、

テーマは、ミルクティードでした。

あなたと、

甘い、甘いミルクティーみたいな恋を。

せめて、夢の中だけでもいいから。

私だけを、

みて。

2
0
1
0
.1
1
.1
2
.1

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8783o/>

ミルクティー

2010年11月23日04時36分発行